

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	CB230	科目名	簿記演習	担当者名	三浦 輝行
授業の概要	「簿記論」を修得し、その内容を十分理解していることを前提に、一連の帳簿関連について体系的に学習する。「簿記論」の学習も含め過去問題対策をし、日商簿記3級受験の実力を付ける。				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な補助簿の役割と記入方法を修得し、各帳簿の関連を体系的に理解する。 ・日常の取引の仕訳と各種の試算表作成ができること。 ・日商簿記検定3級に受験するための基礎知識を身につける。 				
DPの観点	②専門知識・技能 ③意欲・継続力				
授業時間外学修(予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> ・「会計サポート」で学んだ基本をもとに、各単元応用編の項目ごとの事前学習を60分程度する。 ・単元ごとの応用編の課題について実践的な解答に取り組み、検定問題の学習活動を積み重ねる。 				
フィードバックの方法	各単元ごと的小テストの実施により、各自の理解度の確認をする。				
単位認定の要件	授業態度や学習意欲が良好であることと、課題提出や小テスト、期末試験結果を総合して評価する。				
評価の方法・割合(%)	期末試験60%、授業内活動20%、授業内提出物20%				
履修上の注意事項	遅刻・早退・欠席については授業内活動として評価する。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			オリエンテーション	③	レポート提出
2			現金預金	②	小テスト実施
3			商品売買	②	小テスト実施
4			債権債務	②	小テスト実施
5			手形	②	小テスト実施
6			有価証券と固定資産	②	小テスト実施
7			資本金と税金	②	小テスト実施
8			決算	②	小テスト実施
9			伝票式会計	②	小テスト実施
10			帳簿組織	②	小テスト実施
11			応用論点 その1訂正仕訳	②	小テスト実施
12			応用論点 その2再振替仕訳	②	小テスト実施
13			総合問題演習 第1問対策	②	小テスト実施
14			総合問題演習 第2・4問対策	②	小テスト実施
15			総合問題演習 第5問対策	②	小テスト実施
期末試験			期末試験実施		

使用テキスト	日本商業教育振興会会計サポート『日商簿記3級』テキスト
参考文献 参考URL	日本商業教育振興会会計サポート『日商簿記3級講座』解説
備考	

10の観点	①判断力②専門知識・技能③意欲・継続力④協働能力⑤コミュニケーション能力⑥幅広い教養⑦主体性⑧社会性⑨情報活用能力⑩論理的思考力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--